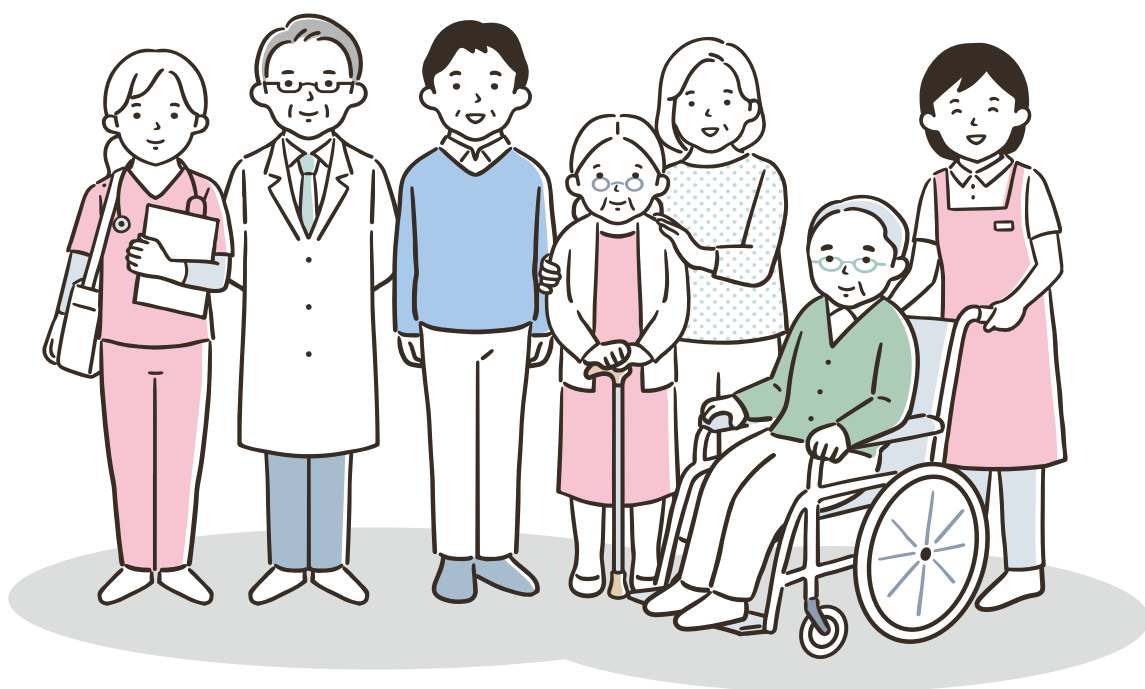


令和5年度

がんばる 介護事業所表彰



高齢者の自立支援や生活の質の向上、雇用環境の改善に
取り組む富山県内の介護事業所等を紹介します

「がんばる 介護事業所表彰」とは…

高齢者の自立支援や尊厳の保持に資する良質な介護サービスの提供や、
介護職員の意欲向上につながる
人材育成の充実・職場環境の改善などに積極的に取り組み、
他の模範となるような顕著な成果を出している介護事業所等を表彰し、
これを広く周知することにより、
介護サービスの質の向上や介護人材の安定的確保を図るものです。

(平成28年度創設)

表彰の経過等

募 集 期 間

令和5年7月31日（月）～8月31日（木）

検 討 会

(表彰事業所の選定)

令和5年11月20日（月）

有識者による検討会の審査をふまえ、県が決定



以下の2部門を設定し、それぞれ該当する事業所等を表彰しています。

自立支援部門

利用者のより豊かな生活の実現を目指して、自立支援・生活の質の向上、介護サービスの質の向上に向けて優れた取組みを進めている事業所を表彰

次の要件を満たす事業所（事業所・施設）を対象とする。

- ① 県内で介護保険サービスを提供していること
- ② 介護保険法、老人福祉法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、労働基準法等の関係法令を遵守しており、過去3年間違反がないこと
- ③ 社会保険（厚生年金保険、健康保険（全国健康保険協会が管掌するもの）、船員保険、国民保険、労働者災害補償保険及び雇用保険をいう）に加入し、該当する制度の保険料の滞納がないこと
- ④ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）と密接な関係を有していないこと
- ⑤ 開設から2年以上経過していること

取組み例

- ケアプランに「聞き書きボランティア」などインフォーマルサービスを取り入れたところ、認知症の症状が改善した
- 介護ロボットの活用により、夜間事故を大幅に削減し入院者ゼロを達成した
- オンラインコンサートを施設で生中継し、楽しみながら機能訓練を行ったほか、オンラインを通じた同世代の高齢者とのコミュニケーションの促進につながった など

雇用環境部門

人材育成の充実や職場環境の改善などに積極的に取り組む事業所を表彰

次の要件を満たす事業所（事業所・施設）を対象とする。

- ① 県内で介護保険サービス又は障害福祉サービスを提供していること
- ② 介護保険法、老人福祉法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、労働基準法等の関係法令を遵守しており、過去3年間違反がないこと
- ③ 社会保険（厚生年金保険、健康保険（全国健康保険協会が管掌するもの）、船員保険、国民保険、労働者災害補償保険及び雇用保険をいう）に加入し、該当する制度の保険料の滞納がないこと
- ④ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）と密接な関係を有していないこと
- ⑤ 処遇改改善加算Ⅰの届出を行っていること
（処遇改改善加算の対象ではない事業所については、処遇改改善加算Ⅰの要件を満たす取組みを行っていること）
- ⑥ 開設から2年以上経過していること

取組み例

- 腰痛リスクの分析や介護ロボット等の導入により、職員の身体的負担の軽減を実現した
- 介護助手の適材適所な配置により、介護職員の負担軽減等、職場環境を改善した
- ICT機器の整備、活用により、データの一元化や業務省力化を実現した など

令和5年度受賞事業所一覧

自立支援部門

事業所名	取組概要
特別養護老人ホーム梨雲苑 (社会福祉法人梨雲福祉会) <富山市>	利用者自身が、自ら選び、自ら買い物する機会を創出するため、移動スーパーを運用。地域包括支援センターや地元の町内会と連携して、地域住民にも幅広く周知を行うことで地域住民の利用も促進。
特別養護老人ホームささづ苑 (社会福祉法人宣長康久会) <富山市>	利用者にコロナ禍以前の日常生活を取り戻してもらうため、家族との触れ合いの時間や地域の友人との団欒等の機会を創出するなど利用者の自己実現を支援。
デイサービスまめの木 (有限会社 まめの木) <富山市>	利用者の身体の状況を丁寧にアセスメントし、多職種と連携しながら、職員が利用者に寄り添った支援を行うことで利用者のQOL（生活の質）の向上を実現。

雇用環境部門

事業所名	取組概要
朝日山ケアセンター (社会福祉法人萬葉の杜福祉会) <氷見市>	職員が心身ともに健康でいられる「ウェルビーイング」を意識した職員の資質向上研修を実施。
特別養護老人ホーム射水万葉苑 (社会福祉法人射水万葉会) <射水市>	新入社員一人一人に先輩社員が直接指導し様々な面でサポートするエルダーエルダー制度を導入し、早期離職ゼロを実現。
アルカディア雨晴 (医療法人社団明寿会) <高岡市>	音声入力に対応した介護支援ソフトウェアを活用し、介護現場における介護記録や書類作成時の業務負担の軽減、ケアの質の向上を実現。

自立支援部門

社会福祉法人梨雲福祉会

特別養護老人ホーム梨雲苑

所在地 富山市吉作1725番地

サービス 介護老人福祉施設

電話 076-436-2002

評価のポイント

- 利用者自身に買い物を楽しんでもらう機会をすることでQOLの向上を図るとともに、交通手段がなく日常の買い物に困っている地域住民にも移動スーパーを利用してもらうことで地域課題の解決、利用者と地域住民の交流機会の創出にもつなげている。

「移動スーパーの導入で利用者が自ら選び買い物する機会」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

以前より施設利用者を対象に、施設内で野菜・果物、パンや魚の販売をしてきましたが、よりたくさんの生活用品を取り扱ってほしいという要望がありました。また、地域のお店の閉店が重なったことで、地域の身近な場所での買い物に困る地域住民も多いことが分かりました。そこで、施設利用者に加え、地域住民が自由に使える移動スーパーの運用に至りました。



取組みの概要・特徴

移動スーパーは、生鮮食品、パン、総菜、米や味噌、醤油などの食料品のほか、トイレトペーパーなどの日用品等、およそ400品目の商品を揃えており、その場にはないものは注文もできます。

現在、梨雲苑では、株式会社アルビス提携のとくし丸（令和5年5月運用開始）、株式会社バロー提携のはじ丸（令和5年7月運用開始）、とやま生協運営のクルくる（令和5年10月運用開始）といった移動スーパーが定期運行しています。

特に工夫したこと・苦労したこと

移動スーパーを利用しやすくするためには、「定期運行」に加え、風雨雪を防げる「訪問場所」の確保、そして「広報活動」による運用の周知が必要です。

梨雲苑では火・水・金の週3回13:30に、屋根のある玄関前アプローチを開放して場所を確保しています。また、回覧板や折り込みチラシの配布、ホームページやSNSを活用し運用状況を伝えるとともに、移動スーパーの来苑日には施設前にのぼりも掲げるなどの広報に努めました。



移動スーパーで買い物する様子

取組みの成果

各施設の利用者は10～20名です。

施設利用者が移動スーパーを利用することで地域住民との「交流」が生まれるとともに「笑顔」があふれ、それを見守る職員も「笑顔」になっています。利用者の施設活動以外の様子を見ることができるとも大きなメリットです。

自立支援部門

社会福祉法人宣長康久会

特別養護老人ホームささづ苑

所在地 富山市下夕林141

サービス 介護老人福祉施設

電話 076-467-1000

評価のポイント

- 外出、外泊、買い物など利用者一人一人から具体的な要望を聞き、その要望を叶えるために必要となる安全体制を確保したうえで、利用者の家族や地域住民等からの協力を得ながら「利用者が望む暮らしのケア」を実現している。

「利用者一人一人の思いに寄り添った個別ケア」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

約3年間、コロナ禍で外出・面会制限もあり家族との関わりもほとんどもてない状態でした。また、以前のささづ苑のケアは、集合で職員が決めた場所に行くことが当たり前でした。令和5年5月に新型コロナウイルスが5類になったことに伴い、「制限のあった生活を開放し、利用者一人一人の思いを大切にしよう」と職員で決め、個別ケアの実践に至りました。

取組みの概要・特徴

令和5年度5月以降に個別に外出された方のうち28名に実施しました。

- ①富山県美術館で開催された「金曜ロードショーとジブリ展」へ出掛けました。
- ②広島G7サミット、富山・金沢教育大臣会合の際に、SDGs取組みとして「折り鶴」折りのイベントに参加しました。
- ③旦那様が一人暮らしをされている自宅へ出掛けました。

その後、体調が悪くなり、有料老人ホームに入所された旦那様が、お亡くなりになるまでの7日間、毎日お見舞いに訪問しました。長年連れ添った夫婦の時間を最期の時まで支援しました。

- ④その他、個別での外出（買い物、ドライブ、お墓参り、自宅での外泊など）を1人1人実践しました。

特に工夫したこと・苦労したこと

工夫したことは、外出先の会場、駐車場の下見、ご家族様との日程調整等の事前準備を入念に行ったことです。

取組みの成果

約3年間コロナの影響により外出や利用者家族との関わりも出来ませんでした。その辛さを目の当たりにし、私たちは「入居者様、家族様、そして地域との関係性こそが何よりも大切である」と自覚し、個別ケアの実践に至りました。

ご主人の看取りに寄り添う、イベントに参加する、外出する、家族と過ごす等の個別ケアを実践し、社会参加をすることで利用者のADL（日常生活動作）、QOLの向上につながったことが成果として挙げられます。



折り鶴折りのイベントに参加している様子



自宅でくつろいでおられる様子

自立支援部門

有限会社まめの木

デイサービスまめの木

所在地 富山市町袋128-1

サービス 地域密着型通所介護

電話 076-451-5251

評価のポイント

- 身体障がいの影響によりコミュニケーションを取ることが難しい利用者へのケアにあたって、主治医・看護師・ケアマネジャー等の多職種からの意見を参考に職員が試行錯誤を繰り返しながら、利用者に寄り添った支援を継続することで、利用者の身体能力の維持・向上、QOLの向上を実現している。

「障がいのある利用者の身体能力の維持・向上、QOLの向上」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

以前は歩行器を使用し、歩行や排泄等を自立して行っていた、弱視と聴覚障がいのある利用者に、転倒を繰り返すといった身体能力の低下がみられるようになりました。そこで、利用者に寄り添ったケアを行うことで、身体能力の維持・向上やQOLの向上を目指しました。

取組みの概要・特徴

身体障がいがあり、コミュニケーションをとることが難しいという他の利用者とは異なる支援方法が求められる中で、職員同士が試行錯誤しながら利用者に寄り添った支援を継続しました。

日中はできるだけデイルームで過ごすことで活動量の増加と筋力維持を目指し、夜間は2時間ごとに排泄や水分摂取の誘導をすることで身体機能の活性化を促しています。



特に工夫したこと・苦労したこと

身体能力の維持・向上を図るための運動支援にあたっては、本人に寄り添い、常に安心感を持っていただけるよう心掛け、職員間で随時ミーティングを開き、実施状況、進行状況を確認するよう努めました。

弱視と聴覚障がいがある方については、ご本人の反応から意思を汲みとったり、スタッフがどのようにボディタッチをすることで、ご本人に意思をお伝えすることができるかなど、スタッフ間で上手くいった対応を共有したりすることで、会話以外でのお互いの意思疎通の取り方を見出すことに成功しました。

取組みの成果

利用者が活動に意欲を持つようになりました。

また、朝昼夜のメリハリのある生活を送れるようになりました。日中は起きていることを心がけることで、表情が明るくなり、職員の意向に理解を示し、積極的に行動いただけるようになりました。

他の利用者にとっても、施設内の雰囲気明るくなるといった良い影響がありました。



雇用環境部門

社会福祉法人萬葉の杜福祉会

朝日山ケアセンター

所在地 氷見市朝日丘834-1

サービス 小規模多機能型居宅介護事業所

電話 0766-74-7501

評価のポイント

- 介護の専門的な知識を習得するための研修に加えて、職員のウェルビーイングを意識した研修を実施。職員の希望に沿った多方面の研修（ポジティブ心理学、聴き方講座等）を行うことで、職員の資質向上とともに介護の質の向上を実現している。

「ウェルビーイングを意識した研修の実施により職員の資質向上と介護の質の向上」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

多くの社会福祉法人では事務処理業務に追われ、他業界の企業に比べ、職員の「ウェルビーイング」を考慮した資質向上に取り組む時間を確保することが難しくなっていると感じていました。

職員の心の幸福・元気は、利用者の支援状況に大きく影響を与えることから、計画的に職員の「ウェルビーイング」を意識した研修を実施し、人材育成を図ることを考えました。

取組みの概要・特徴

令和3年4月以降、介護の専門的な知識を習得するための研修に加えて、職員のウェルビーイングを意識した研修を実施しています。

職員の希望に沿った多方面の研修（ポジティブ心理学、聴き方講座等）を行うことで、職員の資質向上とともに介護の質の向上を実現しました。



特に工夫したこと・苦労したこと

- ・ 毎月の管理職会議にて進捗状況を共有し、研修テーマや内容について必要に応じて改善を行っています。
- ・ 研修の計画はシフト担当者と相談し、シフトに無理がないようにしています。
- ・ 職員の負担を考慮し、職員が受講しやすい研修を選択できるようにオンラインやレポート研修も導入しています。

取組みの成果

- ・ 研修の充実度、人材育成については職員からの評価が高く、職員の離職率も低くなっています。
(R3離職率：6% R4離職率：4%)
- ・ 利用者からは、「職員がたくさん勉強されているので安心して利用できる」との声をいただいております、職員の資質向上が利用者や家族の安心感につながっています。



雇用環境部門

社会福祉法人射水万葉会

特別養護老人ホーム射水万葉苑

所在地 射水市朴木211-1

サービス 介護老人福祉施設

電話 0766-82-8282

評価のポイント

- 無資格でも安心して働ける職場環境を構築するため、エルダー制度を導入するとともに、採用担当者やサポートするエルダー同士が互いに情報交換を行い、高いモチベーションで新入社員の指導・育成に取り組む体制を構築している。

「無資格でも安心して働ける体制の確立により早期離職ゼロ」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

新卒における有資格者の採用が年々厳しくなっていることから、介護の仕事に就きたいと考えているものの資格をもたない人材の採用に力を入れるようになりました。資格や経験がない人でも、長く働き続けられるようなフォロー体制を確立したいと考え、取組みを始めました。

取組みの概要・特徴

新入職員は、入社してから1か月後に、当法人主催の介護職員初任者研修を業務時間内で受講します。研修中は採用担当の職員が同席し、受講者のフォローを行います。資格取得後はエルダーと呼ばれる年の近い先輩職員が、1年間マンツーマンの指導を行い、お互いに成長することができる体制となっています。定期的な進捗会議にも採用担当の職員が同席して一緒に意見交換を行いながら進めています。



特に工夫したこと・苦労したこと

新入職員の知識・技術の習得度合いがそれぞれ違うため、一人一人に合った指導育成プログラムを作成しています。エルダー側でも情報交換を行い、指導方法や問題、悩みなどを共有し、1人だけで抱え込まないようにしています。採用担当職員は新入職員だけでなく、エルダー側の職員のフォローも行います。常に高いモチベーションを持ってもらい、新入職員の指導・育成に取り組めるように努めています。

取組みの成果

令和元年度から新卒職員の早期離職は出ていません。エルダー側も自身がエルダーから教えてもらった経験を最大限に生かして指導にあたっています。

「介護職員初任者研修」にて知識・技術を習得し、「エルダー制度」にて指導・育成、「採用担当者の継続的な関わり」にて社会人として順応していくためのメンタル面のフォローを三位一体として、職場で人を育てるという意識が熟成されることで、新入職員の定着がより強固なものとなっています。



エルダー会議の様子

雇用環境部門

評価のポイント

- 現場の介護職員からの要望を受けて、随時、ソフトウェアの機能を追加・更新することで記録業務の省力化や多職種間の情報連携強化を実現するとともに、これまで記録業務に費やしていた時間を利用者へのケアに充てることで、ケアの質の向上を実現している。

医療法人社団明寿会

アルカディア雨晴

所在地 高岡市太田桜谷23-1

サービス 介護老人保健施設

電話 0766-44-8060

「独自のソフトウェアを開発し、職員の負担軽減や業務省力化」を実現しました。

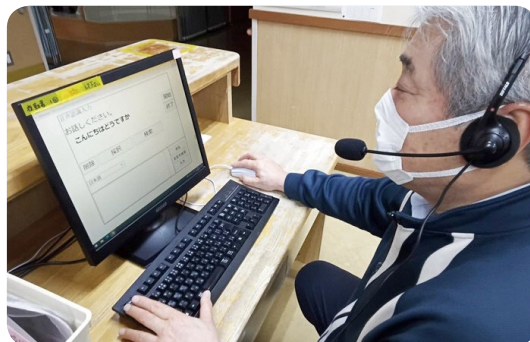
取組みを始めた背景・経緯

利用者に関して職員が得た情報を、手書きで介護職は介護記録に、看護師は看護記録に、リハビリスタッフはリハビリ記録に記入していましたが、読み間違いや転載ミスが起こりやすく、情報が複数の記録に分散していました。

ケアプランなどの書類を作成する際には、必要な情報を探し出してまとめることに時間がかかっていましたが、独自のソフトウェアを開発し、記録業務の省力化や情報の一元化の実現に至りました。

取組みの概要・特徴

独自に開発した介護支援ソフトウェアの活用により、これまで記録業務に費やしていた時間を利用者へのケアに充てることで、ケアの質の向上を実現しました。キーボードでの情報入力が苦手な職員にも簡単に使いこなせるよう音声で入力できるようにしています。



特に工夫したこと・苦労したこと

法人内の小規模施設から導入して、改善を繰り返しながら大規模施設への導入に繋がりました。

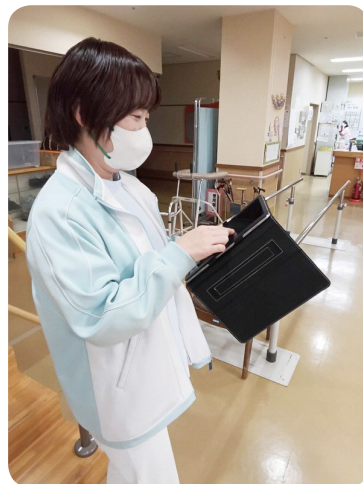
専従のシステムエンジニアが現場の意見を受け、随時ソフトウェアの機能を追加・更新することで、使いやすいシステムにブラッシュアップし、記録業務の省力化や多職種の職員間の情報連携強化を実現しました。音声入力の精度を高めるため、こまめに機能のアップデートを行っています。

取組みの成果

職員へのアンケート結果によると、「役に立つ」の回答が職員の約9割を占めています。

(時短に役立っているか：「非常に役立つ」63%、「少し役立つ」28%、全般的な評価：「非常に役立つ」72%、「少し役立つ」27%)

多職種の職員がどこからでも情報を入力し確認できる体制を作り、職員の負担軽減を実現したことで、職員からは「多職種間の連携が深まった」「ICTに対するアレルギーがなくなった」と声があがっています。





〈参考〉昨年度（令和4年度）受賞団体



自立支援部門

事業所名	取組概要
ささづ苑 デイサービスセンター (富山市)	<p>多職種の職員や家族が連携して本人の夢の実現をサポート、利用者の自立支援や生きがいを創出</p> <p>○利用者が諦めていた、人生でやりたいと思っていた、一人の力では実現が困難な夢を、ケアマネージャーや看護師など多職種の職員、利用者の家族が一丸となって実現をサポートすることで、利用者の新たな生きがいの創出に繋がっている。</p>
グループホームあおぞら (有限会社あおぞら) (上市町)	<p>家事などの日常生活行為を細分化し、本人が力を発揮できる場面を創出、QOLの向上を実現</p> <p>○利用者が好きなことや得意なことに応じて、施設における日常の家事や、地域の花壇管理など町内会の仕事を分担・協力して行うことで、コミュニケーション機会の創出、地域コミュニティにおける役割創出、利用者のADLの向上に繋がっている。</p>
射水万葉会 天正寺サポートセンター	<p>手作りおやつを通じた利用者同士のコミュニティ創出、中高生との多世代交流を通じ、QOLの向上を実現</p> <p>○利用者自身が食べたい、作りたいおやつを、中高生や介護実習生と協力しながら作る多世代交流の機会、おやつ会食などのコミュニケーション機会を創出するとともに、他の利用者のために手作りおやつを作ってあげたいという利用者のモチベーションを引き出し、生きがいを創出している。</p>

雇用環境部門

法人名	取組概要
社会福祉法人 喜寿会 (射水市)	<p>抱え上げ0%を達成し、利用者・職員双方にとって安心・安全・安楽な介護を実現</p> <p>○継続して福祉用具・介護ロボット・ICTを導入し、最適な組み合わせを工夫することにより、介護の質を向上させ、安心、安全、安楽な介護に繋がっている。</p>
社会福祉法人 福鳳会 (高岡市)	<p>1 介護補助職員の採用により、介護職員の負担軽減を実現</p> <p>○近隣の高齢者を対象に説明会を開催し、介護補助職員として採用。 ○それぞれの補助職員に合わせ、マニュアルを作成し、介護補助業務に取り組んでもらうことで、介護職員の負担軽減に繋がっている。</p> <p>2 法人内研修を充実させ、職員がスキルアップできる仕組みを実現</p> <p>○研修の年間計画を記載した受講カードを配布し、研修体系を明示するとともに、計画性をもって研修に参加するよう働きかけている。</p>
社会福祉法人 光風会 (富山市)	<p>ケアアシスタントの活用により、介護職員の負担軽減を実現</p> <p>○介護職員の業務を切り分け、身体介護以外の業務をケアアシスタントに担ってもらうことにより、職員が安心して介護業務に専念でき、細やかなサービスとケアの質の向上に繋がっている。</p>
社会福祉法人 誠心会 (富山市)	<p>介護助手の適材適所な配置により、職場環境改善を実現</p> <p>○ユニット毎に人手が足りない時間帯、行き届かない業務を洗い出し、介護助手を増員配置し、超過勤務の縮減による家庭との両立が図られるほか、良質なサービスが提供されるなど、職員、利用者双方にとって良い結果に繋がっている。</p>
社会福祉法人 梨雲福祉会 (射水市)	<p>介護助手の導入で多様な人材の確保と介護職の魅力向上を実現</p> <p>○地域の元気高齢者を介護助手として雇用し、職員が共に業務を行うことで、地域の支え合い意識が高まり、多様な人材の確保と介護職の魅力向上に繋がっている。</p>

がんばる介護事業所表彰



令和 6 年 3 月発行

編集発行／富山県厚生部高齢福祉課
〒 930-8501 富山市新総曲輪 1 番 7 号
TEL076-431-4111 (代)